

(4) 学校における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取組みの充実

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
75	子どもの読書活動への取組み	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを学校・関連機関・団体が連携して行う。	継続	○			読書郵便、本のPOPや帯の作成、生徒によるおすすめ本や読書会の冊子の作成、平和学習のレポートなど、各学校で行われた様々な取組みの中で作成した作品を地域の公共図書館で展示し、地域への情報発信を行った。 読書振興課のイベント”好きな作家に手紙を書こう”“図書館の達人”に参加した。 東豊中図書館と近隣の小中学校との協同で、スタンプラリーを行った。 夏休みの開館日に、公民分館のボランティアサークルと合同でおはなし会を行った学校もある。	小中学校読書振興課・図書館 教育推進室小中学校チーム
76	読書教育の推進	授業をはじめとした学校教育活動の中に読書を位置づけて取組みを進める。	継続	○			学校図書館活用の年間計画を立て、利用教育、調べ学習、読書指導を計画的に実施した。各教科や「総合的な学習の時間」などで、参考図書の使い方や調べ方、奥付の見方、著作権、情報モラルの説明などの利用教育を系統的に行った。 授業の中で、教員と学校図書館専任職員(以下、学校司書)など学校図書館担当者が協力して、調べ学習のほか、学習内容に関連した本の紹介、ブックリストの作成、ブックトーク、読み聞かせ、テーマ読書などを行い、学習の内容を深めた。 国語の教科書の単元に沿った「学校図書館支援表」を司書教諭とともに作成し、学校図書館が授業を支援する具体的な形を示した学校もあった。 集団読書や「朝の読書」を教育活動の中に位置づけ、取り組んだ学校もあった。 読むことが苦手な児童生徒への手立てとして、読み聞かせ、学校司書から本選びのアドバイスなどを行った。 地域ボランティアや保護者などの協力を得て、教育活動の一環として読み聞かせやワークショップを行った学校もあった。 学校図書館を学校教育活動の中に位置づけ、定期的に図書館教育部会を持つことができた学校もあった。 小学校3年生では、公共図書館見学を実施し図書館に親しむように努めている。 「学校図書館支援ライブラリー」(庄内幸町図書館2階)を拠点としながら、公共図書館でセット組みをした各種資料「調べ学習パック」や「教員支援用資料」の学校図書館への貸出が開始され、授業に活用された。	小中学校教育推進室小中学校チーム読書振興課・図書館
77	読書教育の推進	読みたい本を自由に読む読書活動を教育活動の一環として位置づけ、子どもの主体的な読書につながるよう取組みを行う。	継続	○	オリエンテーション実施校数	全59校	年度初めなどに学校図書館でオリエンテーションを実施し、図書館の意義、使い方、分類、読書のプライバシー、図書館ネットワークの他、リクエストやレファレンスサービスなどの図書館サービスを児童生徒に伝えた。 授業のある日は毎日図書館を開館し、「図書の時間」や休み時間、放課後に貸出を行った。 週1~2回の物流便により公共図書館や市内他校の協力を得ることで、児童生徒により豊かな資料提供を行うことができた。 生涯学習を見据え、公共図書館の利用をすすめ、公共図書館の蔵書検索方法について、コンピュータを使って体験する機会を持った。	小中学校教育推進室小中学校チーム読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
78	読書活動の推進	学校での読書会など、自分と友だちとの共感や感じ方の違いを体感し、本への興味を持てるような機会をつくる。図書館便りや季節や行事、授業に関連したテーマ展示等を実施し、読書活動を支援する環境をつくる。テーマ別に本の紹介リストを作成する。	継続	○	図書館だよりの発行	随時	<p>読書週間、図書館まつり、読書郵便、読書ノート、本の帯やポップの作成、おすすめ本の紹介カードのコンテスト、本の一文コンテスト、読ん棚、ブックウォーク、先生のおはなし会、読書のチャレンジカード、ブックトレインなど、読書への意欲につながるように、各校工夫した取組みを行った。</p> <p>図書委員会による「おすすめ本」の冊子の作成、本の読み聞かせ、朝会でおすすめの本の紹介、人気本のランキング発表、学校図書館新聞の作成、読書会の実施とそのまとめの冊子作成、本の帯やポップ・しおりの作成をおこなった。作品は児童生徒に配布したほか、図書館に展示したりファイリングして活用したところもあった。</p> <p>図書館だよりは児童生徒向けのものを毎月1～2回発行し、必要に応じて教職員向けのものも発行した。</p> <p>授業・行事・時事問題・季節に関連したテーマ展示で、本への興味を持てるようにした。展示はメインテーマだけでなく、いくつか展示コーナーを作り、常に新しいものがあるようにした。</p> <p>教員が読み聞かせに使えるような絵本も多く展示し、クラスでの読み聞かせの支援を行った。</p> <p>授業との関連や季節などを考慮して担任と司書で選書した本での朗読ボランティアによる朗読会を行った学校もある。</p> <p>中学生にすすめたい本を紹介したリーフレット「よめ～る」を中学校司書で作成し、市内の中学校や公共図書館で配布した。</p> <p>夏休みの図書館開館日には、工作や科学遊び、おはなし会のほか、地域の人やPTA、教職員による人形劇、ペープサート、パネルシアター、大型絵本の読み聞かせなどを行った。</p>	小中学校
79	小学校・中学校の連携	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを小学校・中学校が連携して行う。公共図書館とボランティアの指導により、地域との連携をすすめる。	継続	○			<p>学校司書連絡会・公共図書館との地域交流会で、小中学校間での図書館だよりの交換や情報交流を行った。</p> <p>校区の小中学校の司書・司書教諭などで小中連携会議をもち、利用指導など図書館教育の連携について話し合った地域もある。</p> <p>各校の様子を教職員に知ってもらうために、校区内の図書館の様子を紹介した配布物を作成したり、小中合同で通信を発行し、学校図書館での小中連携の取組みを紹介した校区もある。</p> <p>図書委員が作成したしおりを近隣の小学校に送り、活用してもらった学校もある。</p> <p>小学校で取り組んだ、「おすすめの本紹介」の作品、中学校で実施した「本の帯コンテスト」の作品を、校区内の小中学校で巡回展示した校区もある。</p> <p>中学1年生が国語の授業で取り組んだ「紹介カードを作ろう」の発表の中から数名分をビデオ撮影し、小学校でその映像を使ってビブリオバトルを行った校区もある。</p> <p>夏休み中に小学校で、中学生によるおはなし会、工作教室、紙芝居を行った学校もある。</p> <p>小学6年生の卒業前には、中学校の図書館だよりの図書館案内を配布して、中学校図書館への期待と関心を持ってもらうことができた校区もあった。</p> <p>小学6年生と中学3年生に向けて、校区内の小中学校と公共図書館からおすすめの本を紹介した配布物を作成した校区もある。</p>	小中学校
<p>・みんな、楽しんでくれていたので良かったです。中学校生活の中で良い思い出になりました。</p> <p>・みんな、最後までしずかに聞いてくれて良かったです。とても楽しかったです。</p> <p>・最初は足がふるえて緊張気味でしたが、みんなが笑顔でウケてくれたので、自信を持って読むことができました。</p> <p>(小学校で紙芝居を読んだ中学生の感想)</p>								

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
80	読書相談とレファレンスサービスの充実	子どもが読みたい本や知りたいことを見つけられるよう取組みを充実する。	継続	○			<p>知りたいことを自分で調べられるようになる手助けとして、百科事典、国語・漢字辞典、図鑑、年鑑などの参考図書の使い方・資料の読み方を説明した。</p> <p>レファレンスサービスについて説明し、リクエストを勧めた。児童生徒がレファレンスや読書相談をしやすく、図書館だよりや、カウンターの掲示でアピールした。レファレンスの依頼があった時は、丁寧に対応するように心がけた。</p> <p>児童生徒が読みたい本や知りたいことを自分で見つけられるよう、館内表示や掲示を充実させ、図書館や分類のしくみについての学習の機会を多く持った。</p> <p>ブックリスト、レファレンスシート、パスファインダー、ライブラリーナビ、調べ方の手引を作成するなどして、児童生徒が読みたい本や知りたいことを見つけられるような取組みを充実させた。また一人では本を探し出せない児童生徒への支援を日常的に行った。</p> <p>内容が古くなった本は除籍や書庫へ移動させるなどして、新刊本や児童生徒によく読まれる本が手に取られやすいよう館内を整備した。</p> <p>新しい本に関する情報を随時収集し、児童生徒の話を聞きながらそれに合った本をすすめられるようにした。</p>	小中学校

子どもの本や読書に関する情報提供

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
81	保護者への取組み	保護者に対して、子どもの読書の大切さを伝える。	継続	○			<p>保護者への働きかけとして、図書館だよりや保護者向けのたより、学校ウェブサイトなどで、「子どもの読書の大切さ」や新着本情報、学校図書館の状況や活動が伝わるように工夫した。</p> <p>児童が学校から本を持ち帰り、保護者に読んでもらう「親子読書」を実施した学校もあった。</p>	小中学校 教育推進室 小中学校チーム 読書振興課・図書館
82	情報交流	地域で学校や市立図書館、読み聞かせボランティアが子どもや読書に関する情報を共有し、子どもの読書活動を推進する。	継続	○	「子どもと本をつなぐ地域交流会」の回数／参加人数	2回／101人	<p>24年度の交流会では①豊中市子ども読書活動推進計画について、子どもと本をつなぐ活動をしている市民や職員に知ってもらう②普段の活動や仕事計画とどう関連しているかを意識してもらう③交流会を年度ごとで単発のものにするのではなく、継続して連携していけるきっかけとなるような仕掛けを考えるという3つのねらいを設けた。</p> <p>パート1では「24年度交流会3つのねらい」①と②達成に向けて6つの領域の特徴を6人のパネリストに話していただいた。パート2では「24年度交流会3つのねらい」③の達成に向けて、パート1で出されたパネリスト、参加者から情報共有の工夫やアイデアを、その後パート2までに実践してもらいその成果を発表してもらった。1回目で出されたアイデアの成果の具体例としては、岡町図書館では地域交流会であがった意見から掲示板を開設、自由に記入してもらうこととなった。子どもや保護者、ボランティアからおすすめの本の紹介が多く寄せられている。</p> <p>会場内で、市内高校の学校図書館紹介展示のポスターを展示し、好評を得た。2回目の交流会では、会場前でブックスタート事業「えほんはじめまして」巡回写真展を行った。</p>	読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム

読書環境の整備

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
83	図書費の確保	豊かな読書活動と充実した学びを保障するため、学校図書館図書整備費などをふまえ、学校図書館図書標準の達成率を高め、図書費の確保等、資料整備を進める。	継続	○	図書購入予算	当初予算(学校配当)4,404万円	厳しい財政状況の中、前年度と同基準の予算を確保した。義務教育施設の耐震性確保といった安心・安全に対する喫緊の課題への対応などにより、困難が予想されるが、同水準の予算確保に努めたい。 ○図書購入予算内訳:当初予算(学校配当)小学校2,775万円、中学校1,629万円	○学校施設管理チーム 総務チーム 教育推進室小中学校チーム
84	図書館の改修	学校図書館を学校の中の魅力ある場として、財政状況や校舎の改築・改修の時期等を総合的に考え、整備を進める。	継続	○			小学校冷房設備工事で、学校図書館未整備校(9校)にエアコンを設置した。また今後の課題として残りの未整備校(10校)についても設置していく予定。	○教育総務室特任主幹
85	蔵書管理システムの研究	学校及び市立図書館の蔵書を効果的に活用するため、関係機関が連携した研究を進める。 [p48「追加」をご参照ください]	拡大	○			23年度のブックプラネット事業詳細設計にもとづき2回の意見聴取会議を行い、7月にシステム事業者を決定した。事業者決定後、「読書活動支援システム(蔵書管理システム、情報共有システム、授業活用データベース)」の開発・構築を進めた。3月に全学校図書館で資料点検を行い資料データの確認をすすめながら、システム操作研修を行うなど、25年4月からの本格稼働に向けた準備を進めた。 来年度はシステムの安定稼働および活用に向けた研修の充実が求められる。	○読書振興課・図書館 教育推進室小中学校チーム 教育センター
86	学校図書館資料運搬システムの効果的運用	学校図書館・市立図書館間における資料運搬システムの効果的な運用に向けて研究を進める。 [p48「追加」をご参照ください]	拡大	○			「読書活動支援システム」の本格稼働に向けて、25年2月より学校間、市立図書館と学校間の物流便(資料運搬システム)を週2回に増便した。来年度はこれまで運搬対象外としていた調べ学習用のセット資料や百科事典セットの物流便での運搬の実現を図りたい。	○読書振興課・図書館 教育推進室小中学校チーム

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

◆〈実施計画の取組み〉(8 ページ)をご参照ください。

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
87	地域館交流会	子どもの読書活動と学習活動の充実に向け、学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を定期的に設ける。 [151にも掲載しています。]	拡大	○	実施回数	2回	市立図書館司書と小中学校図書館の学校司書とで年に1回行っていた地域館交流会を年2回に増やした。これにより学校図書館の資料を活用した児童生徒の作品や学校図書館を紹介する展示会を市立図書館で開催したり、夏休みに市立図書館司書が学校図書館での支援を行ったり等、連携が進んだ。 来年度は小中連携も視野に入れながら、市立図書館と学校図書館との一層の連携強化を図っていく。	読書振興課・図書館 教育推進室小中学校チーム

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
88	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 [15、68、154をご参照ください。]	継続	○			高校生・大学生・専門学校生計8名の受講者を対象に3日間にわたり、読み聞かせボランティアとしての心構え、絵本の読み方選び方などの指導を行った。最終日の実践では一人一人が責任を持って保育所の子どもたちに読み聞かせを行った。子どもたちの反応もよく受講者全員が楽しく読み聞かせに取り組むことができた。	読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム おはなしボランティアポケット
89	「学校における読み聞かせボランティアバックアップ講座」	学校で読み聞かせを行なっているボランティアに対し、講座を実施するなど継続的な支援を行う。 [14、153をご参照ください。]	継続	○	回数／参加人数	3回／49人	学校で読み聞かせを行っているボランティアの講座は、年度初めの校園長会で学校や園を通じてお知らせし、希望があったグループへは地域の図書館が担当して実施している。また講座の形ではないが、ボランティアへの図書館員による選書のアドバイスは日常的に行っている。 千里図書館では、新田南小グループ「おはなしの会ぷよぷよ」に読み聞かせのレクチャーを行った。	読書振興課・図書館

子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
90	管理職研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」を周知し、教育課程上における学校図書館活用上の必要性・有効性に関して研修を行う。	継続	○	回数	3回	教頭対象の学校図書館教育研修1回、管理職・司書教諭・学校司書対象研修を2回実施した。管理職・司書教諭・学校司書対象研修は、学校図書館を活用した授業づくりをテーマとして実施した。	読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム
91	教職員への啓発・研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」の内容について教職員に周知する。また、夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学や図書館・図書館資料の効果的な活用等の研修を行う。 [156をご参照ください。]	継続	○			夏休みに新任教員の研修を岡町・野畑・千里図書館で受け入れた。 豊中市子ども読書活動推進計画第2期実施計画の概要版を全小中学校の学校図書館教育担当者宛に送付し、周知を図った。また、夏休み期間中の教職員対象の校内研修において、ブックプラネット事業および図書資料の効果的な検索方法等についての説明を読書振興課が行った学校もあった。	読書振興課・図書館 小中学校
92	学校図書館教育担当者(司書教諭)研修	学習指導方法の工夫改善と学校図書館の効果的な活用に関する研修を行い、相互交流・情報交換の場を持つ。	継続	○	回数	2回	学校図書館教育研修会に図書館職員も参加し、司書教諭と情報交換を行った。 司書教諭の役割を理解してもらうために、実践事例を学ぶ研修と情報交換を行う研修を開催した。	教育推進室 小中学校チーム
93	学校司書研修	学校教育における効果的な読書活動並びに学習活動への支援に関する研修を行う。	継続	○	回数	12回	学校図書館専任職員連絡会の機会に蔵書管理システムの先進導入事例や学校図書館と市立図書館との連携事例、学校教育における学校図書館の役割についての研修を実施した。 来年度は「読書活動支援システム」の活用や市立図書館との連携強化に向けた研修の実施により、学校図書館の機能のさらなる充実に結びつけたい。	読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
22年度より追加	とよなかブックプラネット事業	学校図書館の「読書センター」及び「学習・情報センター」「教員支援センター」としての機能向上をめざし、多様な読書活動の取組みを一層普及・定着させるとともに、言語活動の充実や授業改善など教育活動の充実を図る。 [85、86をご参照ください]	継続	○			ブックプラネット事業詳細設計にもとづき「読書活動支援システム」の開発と構築を進めるとともに、操作研修や物流便(資料運搬システム)の増便等、本格稼働に向けての体制作りを行った。合わせて、「学校図書館支援ライブラリー」(庄内幸町図書館2階)を拠点としながら、公共図書館でセット組みをした各種資料「調べ学習パック」や「教員支援用資料」の学校図書館への貸出を開始した。 また、読書活動活性化に向けた啓発事業として、「好きな作家に手紙を書こう」(市内全小中学校から募集)、知的探求合戦「めざせ！図書館の達人」「子ども読書活動フォーラム」を実施した。	読書振興課・図書館教育推進室小中学校チーム
<p>今年度の「子ども読書活動フォーラム」は、児童生徒とその保護者を対象に開催した。(内容:「めざせ！図書館の達人」の代表による報告と表彰、児童文学作家杉山亮さんによる「ものがたりライブ」、サプライズゲストとして児童文学作家宗田理さんの講演。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞書で調べるのはめんどくさいと思っていました。フォーラムを通して、考え直すことができました。(児童) ・杉山さんのものがたりライブがすごく楽しくておもしろかった。(児童) ・子どもたちの自由な発想と着眼点に感心した。杉山先生の楽しいお話に本当に感激した。子どもにもとてもよい経験になったと思う。(保護者) ・とてもおもしろいためになる企画ですので、もう少し多くの人たちにこの楽しさをアナウンスしてもよいのでは。宗田さんが来るとわかっていたら高学年もたくさん来たと思う。(参観者) <p>〈参加者アンケートより〉</p>								



知的探求合戦「めざせ！図書館の達人」